

令和 8 年度 版

工事 歩掛要覧

〈建築・設備編〉

令和8年度版の刊行にあたって

就業者人口が減少し続けている我が国の建設業界は、健全かつ持続可能な産業への発展に向けて大きな転換期を迎えています。令和6年6月に担い手確保への取組強化を目的とした「第三次・担い手3法（入契法、建設業法、品確法）」が成立し、技能者へ適正な労務費が支払われるためのルール等が制定されました。また、令和7年12月には国土交通省に置かれた中央建設業審議会から「労務費に関する基準」が勧告され、この基準によって示される「通常必要と認められる労務費」を著しく下回る見積り・契約締結が禁止されるとともに、公共工事の入札では、入札金額内訳書における労務費等の内訳明示が義務化されました。

このような状況を受けて、国土交通省大臣官房官庁営繕部は令和7年12月に積算基準類を改定し、施工単位当たりが必要とされる標準的な労務費等の内訳が把握できる「単位施工単価方式」を一部工種に先行導入しました。令和8年4月時点では「鉄筋工事」「圧接工事」「型枠工事」「絶縁ケーブル工事」に適用されています。

工事予定価格の設定にあたっては、これまでと同様に市場における取引や施工の実態を的確に反映しながらも、より合理的でより透明性の高い積算根拠が求められています。

本書はこうした社会的ニーズに対応すべく、最新の積算基準類や施工歩掛情報をとりまとめた「令和8年度版」として改定発刊する運びとなりました。

本書が、企画・設計・積算・施工管理・検査等に携わる多くの皆様にとって、日々の業務の一助となり、工事費の適正な積算に資することを願っております。

令和8年7月吉日

経済調査会 積算研究会

参考文献（公表資料）

- ・国土交通省 公共建築工事積算基準
- ・ 〃 公共建築工事標準単価積算基準
- ・ 〃 公共建築数量積算基準
- ・ 〃 公共建築設備数量積算基準等
- ・ 〃 公共建築工事共通費積算基準
- ・ 〃 公共建築工事積算基準等資料
- ・ 〃 公共建築工事積算研究会参考歩掛り
- ・ 〃 営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り
- ・ 〃 営繕積算システム等開発利用協議会参考資料

本書の利用にあたって

【本書の構成】

本書は総論，建築工事編，電気設備工事編，機械設備工事編から構成されています。

総論 工事費の積算，工事費の構成等，工事費，積算内訳書

建築工事編 公共建築工事内訳書標準書式に則った構成

電気設備工事編 共通工事，電力設備工事，通信・情報設備工事，改修工事

機械設備工事編 共通工事，空気調和設備工事，自動制御設備工事，給排水衛生設備工事，改修工事

【利用上の注意】

歩掛表 各建築工事の積算において利用されている一般的，標準的な歩掛を取り上げています。

① 表番号，タイトルが通常表示の歩掛は「公共建築工事標準単価積算基準 令和8年版」の「標準歩掛り」，「単位施工単価」に準拠しています。

表示例

表番号 タイトル

↓ ↓

表・建・1-1 仮囲い

(1m当たり)

名 称	規 格	単 位	高 さ (m)		率を乗ずる 歩掛りの区分	摘 要
			3.0	2.0		
仮 囲 鉄 板 丸 パ イ プ 修						

(注) 1. 表中の施工手間は，設置65%，撤去35%の割合とする。

2. 雑費は，ハンマ，ラチェットレンチ，脚立，足場板，フックボルト，クランプ等の費用とする。

② 表番号、タイトルが白抜き文字で表示された歩掛は「公共建築工事積算研究会参考歩掛り 令和8年版」,「営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り令和8年版」等を表示します。

表示例

表番号		タイトル				
↓		↓				
表・建・14-14		壁見切縁		白抜き表示 (1m当たり)		
名 称	規 格	壁見切縁 (m)	内装工 (人)	諸経費	摘 要	
壁 見 切 縁	アルミ製 厚12mm	1.0	0.03	一式		
	塩化ビニル製 厚12mm	1.0	0.027			

(注) 率を乗ずる歩掛りの区分の労以外は、壁見切縁とし、労は、内装工とする。

③ 表番号、タイトルが白抜き数字で表示され、なおかつ「市場単価」の表示があるものは、現在、市場単価方式に移行した歩掛を表示します。

表示例

表番号		タイトル				
↓		↓				
表・電・1-1-8		線び類②		白抜き表示		
				(1 m当たり) ■ は市場単価		
名 称	規 格	2 種 金属線び	雑材料	電 工	諸経費	摘 要
		m		人		
2 種 金属線 び (MM 2)	A 型 40×30mm	1	一式 (材料価格 ×0.02)	0.09	一式	
	B 〃 40×40 〃	1		0.11		
	C 〃 40×45 〃	1		0.12		
	D 〃 45×30 〃	1		0.11		
	E 〃 45×40 〃	1		0.12		
	F 〃 45×45 〃	1		0.13		
率を乗ずる歩掛りの区分		労以外		労		

(注) ボックス吊金物等は、別途計上する。

機 械 運 転 他 建築工事の機械化に伴って各種の算定式が必要とされ、そのため本書においても随所に掲載しています。

単 価 表 一部参考として単価表を掲載しています。この表中の空欄には現場条件により材料等の規格を選定し、また「月刊 積算資料」,「季刊 建築施工単価」等の刊行物を参照し、単価を代入して利用してください。

主 要 目 次

総 論	1
-----------	---

【建築工事編】

建築工事の積算について	67
1 仮 設	69
2 土 工	97
3 地 業	115
4 鉄 筋	119
5 コンクリート	123
6 型 枠	129
7 鉄 骨	137
8 既製コンクリート	145
9 防 水	151
10 石	165
11 タイル	175
12 木	193
13 屋根およびとい	197
14 金 属	203
15 左 官	213
16 建 具	221
17 塗 装	233
18 内外装	255
19 仕上ユニットほか	263

20	排 水	267
21	構内舗装	275
22	植 栽	287
23	とりこわし	295
24	建築改修	311

【電気設備工事編】

電気設備工事の積算について	337
1 共通工事	343
2 電力設備工事	384
3 通信・情報設備工事	432
4 改修工事	449

【機械設備工事編】

機械設備工事の積算について	467
1 共通工事	473
2 空気調和設備工事	601
3 自動制御設備工事	643
4 給排水衛生設備工事	646
5 改修工事	679

【付録】

1 公共工事設計労務単価について	725
2 共通費（一括発注工事）の算定例	737
3 関数電卓の操作手順例	751

詳細目次

総 論

1 工事費の積算	3	費，現場管理費）の算定および条件明示	23
① 積算の手順	3		
2 工事費の構成等	5	3-2 共通費（基準）	24
3 工 事 費	6	① 共通費の区分と内容	24
① 数値の取扱い	6	② 共通仮設費の算定	27
② 新たな追加の工事等の取扱い	6	③ 現場管理費の算定	29
③ 工事の一時中止に伴う増加費用	6	④ 一般管理費等の算定	29
3-1 直接工事費	8	⑤ 共通費の算定式	30
① 単価および価格の算定	8	3-3 共通費（資料）	35
② 単価および価格に関する数値の取扱い	11	① 共 通 事 項	35
③ 歩 掛	12	② 共通仮設費	38
④ 設計変更時の取扱い等	14	③ 現場管理費	42
⑤ 実勢価格や現場実態を的確に反映した 単価および価格の設定	14	④ 一般管理費等	44
⑥ 現場実態を反映した共通費（共通仮設		[共通費の計算例]	45
		4 積算内訳書	56
		5 請負代金額の記載方法	63

建築工事編

建築工事の積算について	67		
① 材料価格等	67	② 専門工事業者等の諸経費の率	68
1 仮 設	69		
① 共 通 仮 設	70	(2) 外部足場	76
(1) 歩 掛	70	(3) 内部足場	82
(2) 参考資料	72	(4) 安全・養生	86
② 直 接 仮 設	74	③ 運 搬	92
(1) やり方，墨出し，養生・整理清掃後 片付け，地足場	74	④ 算 出 例	95

2 土 工	97
① 機械運転	100
② 根 切 り	103
③ す き と り	104
④ 床付け, 杭間ざらい	104
⑤ 埋戻し, 盛土	105
⑥ 積 込 み	106
⑦ 建設発生土処理 (不用土処理)	106
(1) 構内敷均し	106
(2) 構外処理	106
⑧ 建設発生土運搬	107
⑨ 人 力 土 工	113
⑩ 土工機械運搬	113
⑪ 山 留 め	114
3 地 業	115
① 既製コンクリート杭杭頭処理	115
② 既製コンクリート杭杭頭補強	116
③ 砂利地業, 床下防湿層敷き等	117
4 鉄 筋	119
① 標準歩掛り	120
② 参考歩掛り	120
③ 単位施工単価	121
(1) 適用条件および留意事項	121
(2) 細目工種	121
(3) ベース単価の歩掛り	122
5 コンクリート	123
① コンクリートの種類	124
(1) 生コンクリートの種類	124
(2) 単 価	124
(3) 構造体強度補正	124
② コンクリート打設	125
6 型 枠	129
① 標準歩掛り, 参考歩掛り等	131
② 単位施工単価	136
(1) 適用条件および留意事項	136
(2) 細目工種	136
(3) ベース単価の歩掛り	136
7 鉄 骨	137
① 鋼材 (形鋼, 鋼板等)	138
(1) 数 量	138
(2) スクラップ控除	138
(3) スリーブ, その他	138
(4) 鋼材単価	138
② 歩 掛	139

8 既製コンクリート	145
① コンクリートブロック積	146
9 防 水	151
(1) メンブレン防水	151
(2) 非メンブレン防水	152
① アスファルト防水	153
(1) 仕 様	153
(2) 歩 掛	157
② 伸 縮 目 地	161
③ 成形緩衝材	161
④ シーリング	161
10 石	165
① 見 積 り	166
② 材 料	166
(1) 分 類	166
(2) 取付金物	170
③ 花こう岩張り	171
④ 大理石張り	172
⑤ テラゾブロック張り	173
11 タ イ ル	175
① 材 料	176
(1) タイル	176
(2) 張付けモルタル	180
② 工 法	182
③ タイル下地および各工法の留意点	186
④ タイル材料価格	187
⑤ 数量および費用区分	187
⑥ 歩 掛	188
(1) 一般事項	188
(2) 床タイル張り	188
(3) 外装壁タイル張り	190
(4) 内装壁タイル張り	191
(5) 内装壁モザイクタイル張り	192
12 木	193
① 内装木工	194
13 屋根およびとい	197
① 金属板葺き	198
② ルーフドレン	198
③ と い	198
14 金 属	203
① 鉄製下地	204
② 既製金物	209

15 左 官	213
① 床, 幅 木	214
② 壁	216
③ そ の 他	219
16 建 具	221
16-1 木 製 建 具	221
① 歩 掛	221
16-2 金 属 製 建 具	223
① 一 般 事 項	223
(1) 分 類	223
(2) 運搬と取付け	223
② 歩 掛	224
16-3 ガ ラ ス	226
① 材 料	228
② ガラス材価格	229
③ 工法, 労務	229
(1) ガラスのはめ込み方	229
(2) ガラス工	229
④ 歩 掛	229
(1) 一般事項	229
(2) 各種ガラス取付け	230
(3) ガラス清掃	232
(4) ガラスとめ材	232
17 塗 装	233
① 作業工程 (参考)	234
② 歩 掛	239
③ 改 修 工 事	246
18 内 外 装	255
① 歩 掛	256
19 仕上ユニットほか	263
① 歩 掛	264
20 排 水	267
① 歩 掛	268
21 構内舗装	275
① 一 般 事 項	276
② 機械運転・運搬	277
③ 歩 掛	278

22 植 栽	287
① 一般事項	287
② 歩 掛	288
③ 機械運転・運搬	294
23 とりこわし	295
① 一般事項	296
② 歩 掛	296
(1) 適用条件	296
(2) 留意事項	296
③ 機械運転・運搬	301
④ とりこわし材運搬	302
⑤ 算 出 例	307
24 建築改修	311
24-1 改修工事での単価の補正	312
① 執務状態による積算上の分類	312
② 改修工事における労務の所要量の割増し、単価の補正	312
24-2 仮 設	315
① 屋上防水改修	315
② 外壁改修	316
③ 内部改修	317
24-3 撤 去	320
① 歩 掛	320
② 機 械 運 転	331
③ 撤去材運搬	332
24-4 外壁改修	333
① 歩 掛	333

電気設備工事編

電気設備工事の積算について	337
① 材料価格等	337
(1) 一般機材	337
(2) 大型機器	337
② 搬入費、調整費	337
③ 専門工事業者等の諸経費の率	338
④ 電気設備工事の積算上の注意点	339
(1) 共通工事	339
(2) 電力設備工事	340
(3) 通信・情報設備工事	341
(4) 改修工事	341
1 共通工事	343
1-1 配管工事	343
① 電 線 管	343
② 電線管の電線収容数	346
③ 電線管の規格	349
④ 金属ダクト	350
⑤ ケーブルラック	350
⑥ 線 び 類	351
⑦ 防火区画貫通処理	353
⑧ 延焼防止処理	353
⑨ プルボックス・位置ボックス	354

⑩ ボンディング・位置ボックス用ボン ディング……………	356	⑫ 構内ケーブル・着色識別ポリエチレン ケーブル……………	371
⑪ 配管吊金具……………	357	⑬ LAN用ケーブル……………	372
1-2 配線工事……………	359	⑭ 同軸ケーブル……………	373
① 600V絶縁電線……………	359	⑮ マイクロホン用コード……………	374
② 600V絶縁ケーブル（単位施工単価）……………	360	⑯ 光ファイバケーブル……………	375
（1）細目工種……………	360	⑰ 導入線……………	378
（2）ベース単価の歩掛り……………	360	⑱ バスダクト……………	378
③ 600Vポリエチレンケーブル……………	361	⑲ ライティングダクト……………	379
④ 高圧架橋ポリエチレンケーブル……………	362	1-3 接地工事……………	380
⑤ 高圧電力ケーブル端末処理……………	363	① 歩 掛……………	380
⑥ 低圧耐火ケーブル……………	364	1-4 塗装工事……………	382
⑦ 高圧耐火ケーブル……………	366	① 歩 掛……………	382
⑧ 制御用ケーブル……………	367	1-5 機器搬入費，土工事，コンクリート 工事……………	383
⑨ 屋内通信線……………	368	① 機器搬入費……………	383
⑩ ボタン電話ケーブル……………	369	② 土 工 事……………	383
⑪ 耐熱ケーブル・警報用ケーブル……………	370	③ コンクリート工事……………	383

2 電力設備工事…………… 384

2-1 電灯設備……………	384	⑤ 高圧開閉器その他……………	414
① 配線器具その他……………	384	⑥ 工 事 材 料……………	415
② LED照明器具……………	392	2-5 電力貯蔵設備……………	417
③ 照明制御器……………	398	① 直流電源装置……………	417
④ 誘 導 灯……………	399	2-6 架空線路……………	419
⑤ 開閉器箱・分電盤……………	402	① 建 柱……………	419
2-2 動力設備……………	405	② 腕 金……………	420
① 制 御 盤……………	405	③ 支 線……………	421
② 電動機その他接続材……………	406	④ 架線・屋外用電線……………	422
③ 電動機・電極その他結線……………	408	⑤ 引込用電線……………	423
2-3 雷保護設備……………	409	⑥ 変 圧 器……………	424
① 歩 掛……………	409	⑦ 保安開閉器……………	425
2-4 受変電設備……………	411	2-7 地中線路……………	426
① 受 配 電 盤……………	411	① 地 中 管 路……………	426
② 変 圧 器……………	412	② 地中埋設標，埋設標識シート……………	429
③ 高圧進相コンデンサ……………	413	③ 接地抵抗測定……………	430
④ 直列リアクトル……………	413		

3 通信・情報設備工事	432
3-1 構内交換設備	432
3-2 情報表示・拡声設備	435
3-3 誘導支援設備	439
3-4 テレビ共同受信設備	441
3-5 監視カメラ設備	444
3-6 火災報知設備	445
4 改修工事	449
4-1 改修工事での単価の補正	449
① 執務状態による積算上の分類	449
② 改修工事における労務の所要量の割増し、単価の補正	449
4-2 撤 去	451
4-3 機 器 搬 出	463
4-4 はつり工事	463

機械設備工事編

機械設備工事の積算について	467
① 材料価格等	467
(1) 一般機材	467
(2) 大型機器	467
② 搬入費、調整費	468
③ 専門工事業者等の諸経費の率	468
④ 機械設備工事の積算上の注意点	469
(1) 共通工事	469
(2) 空気調和設備工事	470
(3) 自動制御設備工事	470
(4) 給排水衛生設備工事	470
(5) 改修工事	471
1 共通工事	473
1-1 配管工事	473
① 鋼 管 類	474
② ステンレス鋼鋼管類	512
③ 排水用銅管類	517
④ 遠心力鉄筋コンクリート管	519
⑤ 銅 管	520
⑥ 樹 脂 管	521
⑦ 鋳 鉄 管	527
⑧ 鉛 管	527
⑨ 冷 媒 管	528
1-2 配管附属品	530
① 一般弁類	530
② 伸縮管継手・フレキシブルジョイント等	531
③ 計 器 類	532
1-3 保温工事	533
① 配管保温	533
(1) ポリスチレンフォーム	533
(2) ロックウール	545
(3) グラスウール	558
② 機器類保温	571
③ 弁 類 保 温	572
④ ダクト、保温外装	578
1-4 塗装工事および防食処置	583
① 配 管	583

② 機 器 類	587
③ ダ ク ト	587
④ 文字標識等	588
⑤ 防 食 工 事	589
1-5 機器搬入費	591
① 計 算 方 法	591
(1) 基準単価	591
(2) 補正率	592
1-6 総 合 調 整	593

① 歩 掛	593
1-7 土 工 事	595
① 歩 掛	595
1-8 コンクリート工事・その他	596
① コンクリート工事	596
② そ の 他	597
1-9 ポ ン プ 類	598
① 歩 掛	598

2 空気調和設備工事 601

2-1 ボイラ等および附属機器設備	601	② コーナーボルト工法ダクト（低圧）	626
2-2 冷凍機設備	606	③ スパイラルダクト	628
2-3 空気調和機設備	609	④ その他ダクト，附属品	630
2-4 ダクト設備	619	2-5 弁 装 置 類	636
① アンゲルフランジ工法ダクト	620		

3 自動制御設備工事 643

① 歩 掛	643
-------	-----

4 給排水衛生設備工事 646

4-1 衛生器具設備	646	② インバート桧	660
4-2 給 水 設 備	649	③ そ の 他	666
4-3 排 水 設 備	652	4-5 給 湯 設 備	670
4-4 桧 類	654	4-6 消 火 設 備	673
① た め 桧	654	4-7 厨房機器設備	676

5 改 修 工 事 679

5-1 改修工事での単価の補正	679	④ 保温撤去（グラスウール）	699
① 執務状態による積算上の分類	679	⑤ ダクト類，その他保温撤去	708
② 改修工事における労務の所要量の割増 し，単価の補正	679	⑥ 衛生器具撤去	711
③ 改修工事における配管工事	679	5-3 機 器 搬 出	713
5-2 撤 去	681	5-4 はつり工事	713
① 新 設 補 正	681	① 手 は つ り	714
② 保温撤去（ポリスチレンフォーム）	682	② 機械はつり	716
③ 保温撤去（ロックウール）	690	5-5 配管工事（改修）	718
		① 配 管 工 事	718

② 配管分岐工事	718	5-7 桧類（改修）	722
5-6 ダクト工事（改修）	721	① 歩 掛	722
① 歩 掛	721		

付 録

1 公共工事設計労務単価について	725
① 公共工事設計労務単価について	725
② 公共事業労務費調査の概要	726
2 共通費（一括発注工事）の算定例	737
① 建築工事が主たる工事の場合の算定例	738
② 電気設備工事が主たる工事の場合の算定例	742
③ 機械設備工事が主たる工事の場合の算定例	746
3 関数電卓の操作手順例	751
①-1 共通仮設費率（新営建築工事）	752
①-2 共通仮設費率（改修建築工事）	753
②-1 現場管理費率（新営建築工事）	754
②-2 現場管理費率（改修建築工事）	755
③ 一般管理費等率（建築工事）	756